

憲法改悪を許さない全国署名
各地でこんな取り組みが [51] 2022年12月31日

9条改憲NO! 全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668

- ◆新年も 軍拡・改憲許すな！ 増税 反対！ いのちと暮らし守れ！
- ◆安保3文書—憲法と立憲主義の破壊、平和の破壊、暮らしと経済の破壊—閣議決定撤回！ 具体化阻止！
- ◆タガのはずれた自公政権 市民と野党の共同構築で岸田政権打倒！

各地の取り組みから

北海道 米艦船の寄港反対で市に要請 苫小牧港軍港化阻止実行委員会

苫小牧市の「苫小牧港の軍港化阻止実行委員会」（横山傑委員長）は12月22日、米海軍ミサイル駆逐艦ラファエル・ベラルタが2023年1月30日から苫小牧港入港をもとめていることについて、反対すべきだと岩倉弘文市長に申し入れました。

申し入れでは、「非核平和都市条例」をもつ苫小牧市として苫小牧港への軍艦入港に反対、懸念を表明し、岸壁の利用調整に米艦船の優先権はないことを指摘し、さらに万一入港となった場合は、武器・弾薬を搭載する軍艦の事故対応が困難となることをふまえた安全確保のための実効的な対策を講じることなどを求めています。対応した木村淳副市長は、港湾法と日米地位協定に基づく対処、米艦船を優先することはないこと、市民の安全確保について関係機関と連携していくことなどを答えました。

横山氏らは、米軍が自国内や他の国ぐにでは許されない横暴を日本国内では手前勝手にふるまうことは言語道断、自治体が市民の安全確保のための姿勢を示すよう重ねて求めました。

岩手 子どもらの未来を戦争で断ち切るな！ 厳寒のなかデモ 盛岡市

9条改憲NO! 岩手の会は12月19日、盛岡市で定例のデモ行進を行い、安保3文書閣議決定に抗議し、9条改憲を阻止しようと「岸田政権から9条を守ろう」「戦争できる国はゴメン」「軍事費拡大絶対反対」などとコールし繁華街を行進、市民にアピールしました。

行動には、-2℃を記録する冷え込みの中100人が参加。出発集会では平和環境岩手県センター、岩手県消費者団体連絡会、憲法改悪反対岩手県共同センターの代表らが大軍拡反対、敵基地攻撃能力の保有許すな、子どもらの未来を戦争で断ち切られるのを止めたい、などと訴えました。

宮 城 復興税を軍拡に！？ 岸田自公政権にレッドカード！ 仙台市

市民と野党の共闘で政治を変える市民連合みやぎは 12 月 18 日、仙台市中央通り商店街で宣伝し、岸田政権の安保関連 3 文書の閣議決定に抗議し、「岸田政権にレッドカードを」と訴えました。寒風が吹きすさぶ中、行動には 50 人が参加しました。

行動では参加者がプラカードや横断幕を掲げ、リレートークでアピールしました。立憲民主党の石垣のりこ参議院議員、ひぐちのりこ仙台市議、日本共産党の大内真理、福島かずえ、金田基の 3 宮城県議らが参加し、「復興特別所得税を軍事費に流用などこんでもない」「9 条を持つ国として暮らしと平和を守る政治に変えよう」などとスピーチしました。

福 島 自民提案「改憲意見書」案に反対する行動 議会では自公が強行

福島県議会では 12 月県議会開会直前の 12 月 6 日、自民党会派によって突然持ち出された「緊急事態に関する国会審議を求める意見書」（案）に対し、福島市内で 130 人以上が参加する「意見書案反対」のスタンディング宣伝の他、県下各地で反対行動が取り組まれました。

21 日の県議会最終日の本会議で討論ののち、採決がおこなわれ、県民連合と日本共産党が反対しましたが、自民党と公明党の賛成多数で可決されました。福島県議会の会派構成は自民党 31 人、公明党 4 人、県民連合 18 人、日本共産党 5 人。

茨 城 学生の飛び入りで「戦争やめよう！」と訴え 水戸市で共同宣伝

戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会が主催する共同アクションが 12 月 19 日、水戸駅北口で取り組まれました。敵基地攻撃能力保有や大増税の閣議決定を受け、反対の声を上げようと 20 人が参加しました。

「勝手に決めるな大軍拡」などのプラカードを掲げ 8 人がリレートークで訴えました。宣伝を見ていた大学生 3 人のうちの一人が「若者を代表して一言言いたい。戦争は止めましょう」と訴えました。

千 葉 武器見本市に幕張メッセを貸すな！ ママの会など県に要請

安保関連法に反対するママの会と幕張メッセでの武器見本市に反対する会は 12 月 16 日、熊谷俊人千葉県知事に対し、武器見本市への幕張メッセの貸し出しを中止するよう要請しました。

2023 年 3 月に開催が予定されている武器見本市（「DSEI Japan2023」）の会場として千葉市の県有施設・幕張メッセが貸し出されることについて、貸し出し予約を取り消すこと、今後武器見本市に同施設を使用させないこと、知事との意見交換の場を設けることなどを求めたものです。

対応した県商工労働部の担当者は、（同見本市への貸し出しは）住民の福祉増進を定めた地方自治法や設置管理条例に反せず、不承認の事由とはならないこと、要請があったことは知事に報告していることを回答、知事との意見交換については言及を避けました。

参加者は、「人命を奪う武器の売買が住民福祉か」「県民の税金で運営される施設について、県民の声を尊重すべき」などを強く迫りました。

東 京 議員会館前で、官邸前で、地方議会で閣議決定反対！

◇**小金井市議会**は 12 月 16 日、政府が安保 3 文書に明記した「敵基地攻撃能力の保有」の撤回と対話の外交を求める意見書を賛成 11 で可決しました（反対は自民党・公明党など 9）。

◇**戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクション**は、安保 3 文書の閣議決定強行の前日、議員会館前を会場に 12 月 15 日夜、「『安保関連 3 文書』閣議決定反対 敵基地攻撃能力保有許すな！軍拡反対！軍事費倍増反対！閣議で勝手に決めるな！12・15 国会議員会館前緊急行動」を開催しました。行動には 800 人が参加し、怒りを示しました。

中野晃一上智大学教授らが市民代表として安保 3 文書の問題点とそれを強行する岸田政権を告発しました。

立憲野党から大河原雅子立憲民主党衆議院議員、小池晃日本共産党書記局長・参議院議員、福島瑞穂社民党党首・参議院議員、伊波洋一沖縄の風幹事長・参議院議員があいさつをしました。

◇安保 3 文書の閣議決定が強行された 12 月 16 日、同日 8 時 30 分から首相官邸前に 300 人が結集し、「閣議決定するな！」「勝手に決めるな！」「岸田政権は直ちに退陣！」の声をあげました。取り組みは、**憲法 9 条を壊すな！実行委員会**の呼びかけ、**戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会**の協賛で行われたものです。

行動では今井高樹日本国際ボランティアセンター（JVC）代表理事ら市民代表が日本のあり方を非軍事から軍事国家にする安保 3 文書は到底許されない、戦争する国づくりを進める岸田政権を退陣に追い込もうと呼びかけました。

山添拓日本共産党参議院議員、福島瑞穂社民党参議院議員が連帯あいさつ。

◇**戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会と 9 条改憲 NO！全国市民アクション**は 12 月 19 日、85 回目となる国会行動を展開しました。議員会館前一带の会場に 1100 人が結集しました。



（写真提供：田中章史さん）

12 月 16 日、岸田首相のもと強行された安保 3 文書の閣議決定に対する怒りが全国に広がる中、連帯して取り組まれ、閣議決定抗議・撤回、具体化反対の声をあげました。

市民の代表として、17 日池袋駅前で行った抗議行動を取り組んだ東京・北区総行動、在日ミャンマー市民労組の代表らが発言、沖縄からオンラインの訴えがされました。

立憲野党からは近藤昭一立憲民主党衆議院議員、山添拓日本共産党参議院議員、福島瑞穂社民党参議院議員が訴え、沖縄の風からメッセージが寄せられました。

新潟 ストップ！「専守防衛」から先制攻撃への大転換 市民 AC 新潟

9 条改憲 NO！全国市民アクション@新潟は 12 月 15 日、新潟市で『専守防衛』から先制攻撃が可能な国へ大転換する閣議決定を許すな」と緊急宣伝を展開しました。行動には約 60 人が参加しました。

行動では参加者がプラカードなどで「大軍拡・増税反対」と呼びかけました。女性会議新潟県本部の内田洵子議長や日本共産党新潟県委員会のたいらあやこさんがマイクで訴えました。

富山 戦争国家づくり反対の宣伝 富山駅前とやま県民連合

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めるオールとやま県民連合は 12 月 21 日、岸田政権が強行した安保 3 文書の閣議決定を撤回することを求める宣伝を富山駅前で行いました。

同連合が安保 3 文書の閣議決定について発表した「違憲の戦争国家づくりに断固反対し、『安保関連 3 文書』の閣議決定の撤回を求める緊急声明」を報告しました。同連合共同代表の川原登喜の、高道俊彦、水谷敏彦の各氏ら 20 人が参加しました。日本共産党、社民党、れいわ勝手連からも代表が参加し、リレートークで訴えました。

石川 改憲・軍拡反対 予算はくらしに 岸田政権退陣を！ 金沢市

石川憲法会議と戦争する国づくりストップ！憲法を守りいかす石川県共同センターは 12 月 21 日、169 回目となる隔週水曜日の「怒りの昼デモ」を取り組みました。市民ら 20 人が参加し、「平和憲法 9 条を守ろう！」の横断幕を掲げ、「政府は国民生活を守れ！」「軍拡反対、予算は暮らし、コロナ対策に回せ！」「岸田政権は退陣せよ」とアピールし、金沢市内の繁華街を行進しました。

出発前の集会あいさつで、安原昭二石川県民教育文化センター所長は、岸田政権の大

軍拡・大増税を批判、「説明もなく、国民の声を聞くことも話し合うこともなく、信を問うこともないまま、安保政策の大転換をおこなうなど許されない」「その体質は独裁政治そのもの」「『眼には目を、歯には歯を』の論法はいまやどこでも通用しない、平和的な解決を求める道筋しかない」と強調、軍事増強ではなく平和外交の道をと強調しました。

福井 東アジアの平和の実現は対話から **福井市で宣伝**

戦争する国づくり反対！福井総がかりアクションは12月17日、安保3文書の閣議決定に抗議する宣伝を福井市内で行いました。

主催者の屋敷紘美同アクション代表らは、岸田内閣が「専守防衛」の立場を投げ捨て、大軍拡・大増税に踏み出す安保3文書は与党内の議論だけで決められ、民主主義とは相容れない、国民の平和と安全の道は「戦争しない、話し合おう」だ、と提起、対話でこそ東アジアの平和は保たれると強調しました。

行動には立憲民主党の龍田清成福井県連副代表、日本共産党のさとう正雄福井県議・県委員会副委員長が参加し、スピーチしました。

大阪 大軍拡、大増税反対！ 若者の憲法宣伝も、署名も **大阪各地**

◇**大阪総がかり行動実行委員会**は12月19日、京橋駅前では安保3文書の閣議決定、平和国家から戦争する国家へ暴走する岸田政権に抗議する宣伝行動を行いました。行動には60人が参加、九条の会おおさかの青年5人がスピーチしました。貧困で進学をあきらめたり、低賃金で暮らしに不安が広がるなどの青年の実態を示し、「平和を投げ捨て戦争する国へ向かう政治を変えよう」と呼びかけました。野々上愛立憲民主党大阪府議会議員、清水ただし日本共産党前衆議院議員、大橋祐子社民党副党首、れいわ新選組の八幡愛さんから立憲野党の代表も勢ぞろいし、大軍拡、大増勢に反対する国民的な共同と運動を呼びかけました。

◇寝屋川市の**革新懇、憲法を守る会、9条の会連絡会**が呼びかけた大軍拡・大増税に断固反対する緊急市民行動が12月21日、京阪寝屋川駅前で行われ50人が参加しました。参加者は「軍拡増税反対」「戦争準備を止めよう」のポテッカーを掲げ、参加した団体の代表9人がリレートークし市民に訴えました。

◇堺市では、**大阪憲法会議など**が12月20日、市内の3つの府立高校、私立高校の門前で大阪憲法会議作成のリーフを配布、対話がはずみました。

◇大阪市西淀川区では12月19日、**第64回戦争あかん！西淀川サイレントデモ**が取り組まれました。岸田政権の安保3文書の閣議決定に抗議し、30人がデモ行進しました。

◇高槻市の**19日行動**はJR高槻駅前で行われました。行動には50人が参加し、憲法改悪を許さない全国署名の訴えに33人が応えてくれました。閣議決定の前日12月15日には同駅前でも60人が参加して、緊急行動を行いました。

◇**泉南市九条の会**は12月19日、スーパー前でスタンディング宣伝を行い、14人が参加。「大軍拡より平和外交！」などのプラカードや横断幕を掲げて訴えました。買い物客やドライバーの注目を集め、激励も寄せられました。

◇**戦争させない池田九条の会と池田母親大会連絡会**は12月19日、阪急池田駅ダイエー前で安保3文書の閣議決定に抗議する宣伝を行いました。15人が参加し、6人がハンドマイクで訴えました。憲法改悪を許さない全国署名20人分が寄せられ、はがき付きリーフレット78枚、「赤紙」複製ピラ110枚を配布しました。

◇大阪市東住吉区の**東住吉憲法連絡会**は12月19日、近鉄針中野駅前でも15人が参加して宣伝行動を行いました。下校途中の中学生、高校生たちが「戦争は反対や！」と署名やシール投票に次つき応えてくれました。ある中学生などは「学校の前で署名活動をやってください。いっしょにピラをまきます」と求めてきました。

兵庫 憲法改悪反対署名などで閣議決定に反撃 **尼崎市・立花九条の会**

尼崎市の**立花九条の会**は12月19日夕、安保3文書の閣議決定を受け、JR立花駅南2階デッキで行動、憲法改悪を許さない全国署名、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名への協力を市民に呼びかけました。

安保3文書は憲法違反、トマホークの保持などの大軍拡とんでもない等の訴えの中

で、次つぎ署名が寄せられました。署名した人たちは「岸田政権はなんでも勝手に決めている、あかん」「こんな大規模な軍備拡大は支持できない」「このままいったら日本が戦争に巻き込まれる」などと語りました。

徳島 戦争を起こさせないことこそ大事 講演会で学ぶ 徳島市

9条改憲NO！徳島・市民アクションは12月17日、徳島市で同アクション結成5周年記念集会・講演会を開催しました。オンラインを含め50人が参加しました。

上地大三郎事務局長が「憲法9条でホントに日本の平和は守れるの？」を講演。憲法9条の意義を改めてつかむことが大事で、自民党の改憲案は自衛のためとてなんでもできるようにしようとしていること、戦争を起こさせないための努力が大切であること、9条にもとづいて他国を攻撃しないという安心感が戦争の抑止になることなどを語り、武力によらずに平和を実現するビジョンを語る事が大切、と呼びかけました。

福岡 「安保3文書」改定ノー 北九州市で緊急行動

平和をあきらめない北九州ネットは閣議を翌日に控えた12月15日夜、北九州市小倉北区で安保3文書改定の閣議決定を許さないと緊急行動を取り組みました。

参加者は「敵基地攻撃＝先制攻撃 絶対反対」などののぼりをかかげリレートークでアピールしました。立憲野党からは日本共産党と社民党の代表がスピーチし、立憲民主党からはメッセージが寄せられました。

佐賀 紙しばいで講演会 分かりやすく憲法を学ぶ 小城9条の会

佐賀県小城市の**小城9条の会**は12月18日、小城市内で講演会を開催しました。

講演会では、佐賀大学名誉教授の染谷孝さんが、自ら作製した紙しばい（作画は半田幸子さん）をスクリーンに映し解説しました。憲法9条の意味やロシアのウクライナ侵略、中国や北朝鮮などの軍備強化などの動きとの関係と憲法9条の意役割について会場の参加者とのやりとりで深めました。

小城9条の会代表の福島是幸さんは、「最高法規の憲法に反する法律や条例が横行している現実を告発し、憲法が生きるようにしないといけない。憲法を、いっしょに分かりやすく学び合おう」と呼びかけました。

講演会終了後、同会は総会を開催しました。

＜思い起こし広げよう「国葬」反対全国の取り組み＞

◇全国各地312カ所、参加者数3万895人が参加した**全国の取り組み状況**（最終集約2022年10月16日）—**別添**

◇**全国の取り組みの情報収集を終えての感想**

ネットで検索できたのは、行動のほんの一部だと思いますが、それでも、「全国津々浦々」で行動が巻き起こったことを実感しました。

1) ネットウヨ(?)の「ジジババばかり」「邪魔」「やる意味がない」などの書き込みも多くありますが、そういう人たちも、こう書き加えています。

「今日駅前で国葬反対デモしてて、東京から6億kmくらい離れたクソ田舎でまでマジでなにしてんのかと思ってクソデカため息出た」

「愛知県西三河のド田舎で何やってんのかね」

「初めて実写で見たわ」

「こんな田舎でせんで武道館までいけよ」

「クソ田舎の道の駅の近くでパフォーマンスしてるクソジジイ集団が国葬反対と叫んでましたね…」

「さっきも反対グループの記事見たばかりだなと思ったら、今日一日で4回も国葬反対デモの記事出してんじゃん」

などなど。

2) もちろん、賛同の投稿も。

「帰路駅前で、国葬反対のプラカードを持って集まっている人たちがいた。なんのためらいもなく、ビラを配っている初老の女性と握手を交わした。たったそれだけのことであるが、今日という日を傍観者のまま終わらずに済んだという気持ちが込み上げてきた」

「『国葬反対』のプラカを持ち、駅前に一人立つ方。賛同します！」

「離れ小島の田舎者なのでデモには参加出来ませんが、最後の最後まで国葬に反対します」

など。

3) そして、行動をリアルに目にした書き込みが目立ちました。

「都内の国葬反対デモが少なかったって言うけど、先週四国へ行ったらあちこちの駅前で反対の運動していて、あー、こういうとこまでやってるのかと思ったので東京だけ見てあれこれ言うのも間違ってるなと思うな」

「駅前で国葬反対のおばさん達を見て本当にいるんだなって思った」

「駅前で国葬反対のビラ配りしていた。Twitter 上のものやと思っていた」

「滋賀の糞田舎でも、『国葬反対』って立て看板を掲げて走っている軽トラがいて感動してしまった」

「駅前が国葬反対で密になってる」

「けっこうな人数が国葬反対のために集っていて、一宮でもこんなに集まるのか！と驚き」

「小さな町だが、駅前で国葬反対の演説が…、恐らく全国津々浦々で同じ事が行われているんだろう」

「割と田舎の方に住んでいるけど駅前で国葬反対デモやってたな。すげ〜」

「こんな田舎の交差点で『国葬反対！』ってプラカード掲げてる集団いて『おおう…』ってなった」

「こんな田舎で、初めて『国葬反対ののぼり』見た www」

4) 「爺と婆国葬反対駅に立つ」と 8月 23 日から 9月 26 日までの 35 日間、J R 高槻駅（大阪府）で連日スタンディングされた方のブログです。

国葬反対スタンディング 35 日目 9月 26 日(月)

今日が最後の国葬反対スタンディングです。

国葬は中止されなかったけれど、多くの人と国葬反対を共有できました。

家で「国葬はおかしい」と言っても始まらない、とにかく駅で立とうと決めました。

多くの人に励まされ、そしてありがとうと言われました。

国葬反対の輪が駅で広がりました。

これからどうなるかはわかりませんが本当にやってよかったスタンディングです。

一緒に立ってくださった方、声をかけてくださった方、皆さんありがとうございました。

様々に人行き交いて国葬反対

こうした方々が、全国各地におられたのだと思います。

(大滝 2022 年 10 月 16 日)